

- 問1 富山県高岡市の市街地が描かれた地形図の読図について、図中から読み取れる内容や方位・距離の関係を説明した文として正しいものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- 市役所周辺の寺院と神社の記号を比較すると、一般的に鳥居の記号で示される神社の方がまんじの記号の寺院より数多く分布している。
 - 高岡駅から見て市役所が「北西」にある場合、市役所から見た駅の方位は「南東」となる。
 - 地形図上の市役所の記号は、官公署を表す「○（丸）」の中に「×（バツ）」を描いた記号で示される。
 - 2万5千分の1の地形図において、図上の1cmは実際の距離で500mに相当するため、市役所から1.2cm離れた場所は実際の600m地点である。
- 問2 日本の気候区分において、冬にシベリア方面から吹き込む北西の季節風が日本海の上空で水分を蓄え、山脈にぶつかることで雪や雨を降らせる結果、冬の降水量が夏よりも多くなる地域を何と呼びますか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- 太平洋側の気候
 - 瀬戸内の気候
 - 日本海側の気候
 - 中央高地の気候
- 問3 2017年の中部地方における産業構造について、各県の就業者数や割合の傾向を説明した文として正しいものを選択してください。なお、愛知県は総就業者数が約407万人と中部地方で最多となっており、各県とも第3次産業の割合は60%から70%程度で推移しています。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- 中部地方における第3次産業の就業者数合計は約300万人にとどまっており、依然として第2次産業の製造業に従事する人口が産業全体の過半数を占めている。
 - 愛知県などの都市部だけでなく、中部地方の全県において第3次産業の割合が6割を超えており、林業などの第1次産業の就業者数を大きく上回っている。
 - 富山県や福井県などの日本海側の県では、製造業を中心とした第2次産業の就業者数が、サービス業などの第3次産業の就業者数を上回っている。
 - サービス業は林業と同じ第1次産業に分類されており、観光業が盛んな長野県や山梨県では、第1次産業の就業者割合が50%を超えている。
- 問4 静岡県の産業構造について、農業産出額と漁業産出額の統計的な傾向から読み取れる特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- 温暖な気候を活かした園芸農業が盛んであり、あわせて水産業も全国屈指の規模を持っている。
 - 大消費地に隣接しているため野菜の生産額は多いが、工業化が進んでいるため漁業は衰退している。
 - 広大な平野を利用した米作りが産業の軸であり、漁業は補完的な役割にとどまっている。
 - 果実の生産額は全国最大級であるが、内陸県であるため漁業産出額は極めて少ない。
- 問5 長野県などの標高が高い地域（高冷地）で行われている、夏の涼しい気候を利用して、平地での出荷が少なくなる夏から秋にかけてレタスなどの野菜を栽培する農法を何と呼びますか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- 抑制栽培
 - 促成栽培
 - 近郊農業
 - 施設園芸
- 問6 急峻な山々に挟まれ、木曽川が北東から南西へと流れる谷底のわずかな平地に、集落や鉄道、道路が密集している地域があります。江戸時代、この場所には「福島関所」が置かれ、山岳地帯を通る主要な交通路の要所となっていました。この街道の名称として正しいものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- 日光街道
 - 東海道
 - 甲州街道
 - 中山道
- 問7 長野県において、リンゴやブドウといった果樹栽培が盛んに行われている理由として、この地域の気候の特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- 梅雨や台風の影響を強く受け、年間を通じて非常に降水量が多い気候であるため
 - 一年を通じて温暖で、黒潮の影響により冬でも霜が降りにくい気候であるため
 - 季節風の影響で冬の降雪量が多く、雪解け水が豊富なため
 - 内陸部特有の、夏と冬や昼と夜の気温差が大きい気候を活かしているため
- 問8 日本海側の気候の特色を示す統計において、海岸沿いの新潟市と、内陸の盆地に位置する長野市の月別降水量を比較したとき、新潟市の方が冬の降水量が格段に多くなる傾向があります。この理由を述べたものとして正しいものはどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- 新潟市は対馬海流という寒流の影響を強く受けるが、内陸の長野市は地形の影響で気温が下がりにくいため
 - 北西からの季節風が、まず海岸付近で雪や雨を降らせ、内陸の盆地には山々に遮られた乾燥した空気が流れ込むため
 - 長野市などの内陸部は標高が高いため、雪に変わる前の水蒸気がすべて沿岸部で雨として落下してしまうため
 - 盆地特有の地形で、夏に蓄えられた熱によって冬の雲が消滅し、降水が抑制されるため
- 問9 長野県などの高冷地で生産されるレタスは、明け方に収穫されたあと、保冷トラックを用いて約5時間かけて東京などの大都市へ輸送されます。このような仕組みがとられている理由を、生産の工夫と流通の観点から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 東京都公立入試 類似)
- フォッサマグナ沿いの複雑な地形を移動する際に、振動による野菜の破損を抑えるための特殊な梱包時間を確保するため。
 - 標高の低い地域での収穫時期とあえて重ねることで、市場への供給量を増やし価格を安定させるため。
 - 水分が多く傷みやすい野菜の鮮度を維持するために、気温の低い時間に収穫し、低温を保ったまま迅速に輸送するため。
 - 明け方の収穫によって害虫の活動を抑え、農薬の使用量を減らした「有機農業」としてのブランド価値を高めるため。
- 問10 中部地方の険しい山岳地帯を縦断する東海北陸自動車道と、平野部を主とする名神高速道路の構造を比較したとき、東海北陸自動車道において全区間に占める割合が著しく高いものはどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- トンネルの総延長
 - 橋梁（橋）の総延長
 - 高架区間の総延長
 - 盛土（土を盛った路面）の総延長
- 問11 日本で最も長い信濃川の下流域に広がり、その豊かな水と堆積した土砂によって形成された、日本有数の稲作地帯として知られる平野の名称を選びなさい。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
- 濃尾平野
 - 越後平野
 - 筑紫平野
 - 石狩平野
- 問12 富山市における昭和中期から平成にかけての地域変化について、JR富山港線沿線の状況を説明した文として、背景や要因を含めて最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- 地価の安かった県庁付近の畑地が、人口の過密を解消するために新興住宅地として再開発された。
 - 富山城址の北東にある市役所の移転に伴い、その周辺の広大な水田がすべて官公庁街へと作り替えられた。
 - 米の生産過剰を解決するために、政府の主導によって鉄道沿線の水田がすべて工場用地や商業ビル群に転換された。
 - 通勤や通学の利便性が高い鉄道沿線の土地が需要を増したため、水田だった場所が大規模な住宅地として整備された。